



令和6年9月26日

報道関係 各位

名古屋市立大学大学院経済学研究科 経済学部
准教授 山本奈央
(電話：052-872-5064)

**【10/9 開催】 経済学部生の斬新な発想から誕生した
伊藤手帳の新商品「パッチワーク日記」完成品発表会
～1日の気持ちを整理して良質な睡眠を促す新しいカタチの日記帳～**

名古屋市立大学経済学部4年のチーム「スケジュールサムライ」(木村 斗真、中川 愛耶、中山 美月、藤井 果歩、指導教員：山本 奈央)が実際に商品化を目指す大学ゼミ対抗のインターカレッジ S カレ (Student Innovation College 以下 S カレ) 2023 にて提案した「パッチワーク日記」の完成品発表会を10月9日(水)16時40分より名古屋市立大学にて行います。

記

日 時 10月9日(水)16時40分～17時30分(開場：16時30分)

場 所 名古屋市立大学 滝子キャンパス 3号館101教室

愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1

▼当日の流れ

1. 指導教員 山本奈央よりスケジュールサムライチーム紹介
2. スケジュールサムライチームによる「パッチワーク日記」開発の経緯と商品紹介
3. 開封の儀 ※梱包された状態の「パッチワーク日記」を学生が開封し、お披露目を行います
4. 質問タイム：考案者・製造元への質疑応答(ご来場者どなたでも質問可能です)
5. 名古屋市立大学経済学研究科長・学部長 中山徳良より本取りくみに対する挨拶
6. 伊藤手帳代表取締役社長：伊藤亮仁様より 産学連携における事業シナジーについて/商品化に対する想い
7. フォトセッション



S カレでの優勝は逃しましたが、斬新なコンセプトと仕様案（水玉模様状の小さな丸い枠で感情の大きさを表す）について新規性が高いと評価され、この度、伊藤手帳株式会社の協力のもと商品化を進めてまいりました。完成品発表会では、考案した学生たちが自ら開発経緯を発表し、商品化された「パッチワーク日記」と初めて対面します。また、参加者との質疑応答やフォトセッションも予定しています。

なお、パッチワーク日記は10月25日（金）より伊藤手帳のECサイトユメキロックにて新商品として販売されます。 ※販売価格は1,870円（税込み）

【パッチワーク日記の特長とコンセプト】

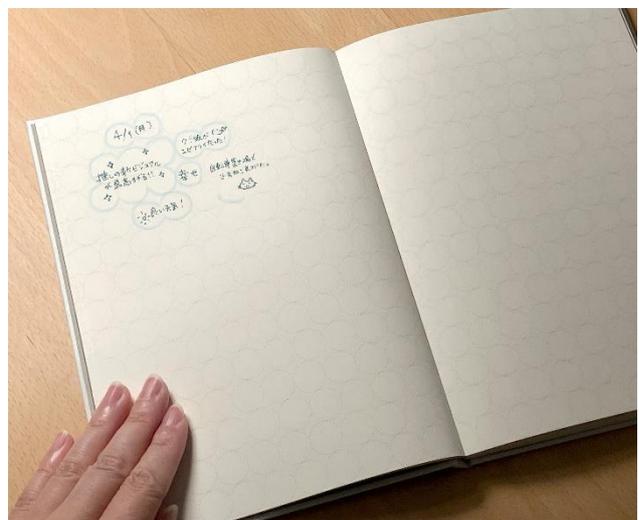
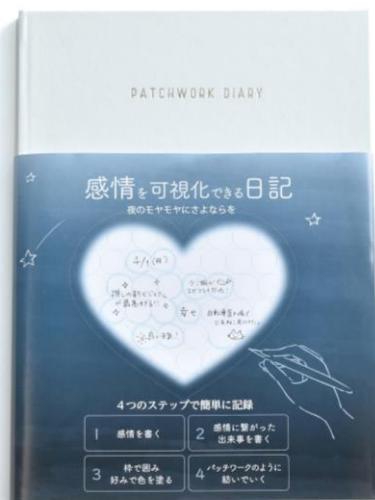
パッチワーク日記は、水玉模様状の小さな丸い枠を使い、感情を自由に記録できる日記です。感情の大きさを一目で視覚的に表現し、パッチワークのピースを繋ぐように記録することで、その日の感情を整理し、振り返りが楽しくなる新しい形式の日記です。1日の終わりに感情を記入することで、心の整理を促し、良質な睡眠へと繋げることを目指しています

【パッチワーク日記のネーミング由来】

「パッチワーク」は、異なる柄や色の布を切り抜いて組み合わせ、縫い合わせてひとつの作品に仕上げる技法です。小さな丸い枠にその日の感情の強弱を埋めて日記を完成させる過程と完成した日記ページがパッチワークの技法と似ているため「パッチワーク日記」と考案した学生より命名されました。

【パッチワーク日記が誕生した背景】

名古屋市立大学経済学部山本ゼミの4名で構成される「スケジュールサムライ」チームが2023年6月より商品企画を開始。自分たちで日記を使用するうちに「日によって書く量が違う」「書いた日記を見返すのが楽しい」事に着目しました。そこで「見返した時に楽しい」日記はどうあるべきかチーム内で議論を重ね、「パッチワーク」のように、その日の感情の断片を繋いで表現できる日記レイアウトを考案しました。考案した学生は、どのようなレイアウトが感情を整理する日記として効果を高められるか、それを調べるために、10種類のプロトタイプ（試作品）を用意し、約50人にそのプロトタイプを使用してもらいました。その結果、丸いレイアウトが最も評価が高く、現在の商品に至りました。



写真：商品表紙画像とパッチワーク日記の記入事例



【名古屋市立大学経済学部について】

名古屋市立大学経済学部は、地元経済界の熱い期待を受けて 1964 年に設置され、今年で創立 60 周年を迎える。

幅広い教養と豊かな人間性を身に付け、経済学と経営学の諸理論に精通し、社会の様々な課題に対応できるような人材の育成を目標としている。

これまでに卒業生約 11,500 名を輩出した。

【伊藤手帳株式会社について】

昭和 12 年現代表の祖父が個人経営として創業。平成 20 年伊藤手帳株式会社へ組織変更とともに伊藤亮仁が 3 代目代表取締役へ就任。事業承継時 100 坪であった本社兼工場（名古屋市東区）から工場部門を愛知県小牧市へ移転。

2022 年 4 月に小牧第 2 工場（2nd Base）も稼働。総計 1800 坪の敷地で年間 1,000 万冊の手帳を製造します。事業成長率 9.20%(4 年間)。

2021 年より SDG s 宣言に基づく地域貢献の 1 つとして愛知大学・一宮商業高校、聖徳学園中学校（東京武蔵野市）と産学連携プログラムによる手帳開発・販売を手掛け手帳需要の裾野を拡げる活動も行っています。

2023 年は愛知大学キャリア支援センター、愛知県立一宮商業高等学校聖徳学園中学校（東京武蔵野市）、S カレ（Student Innovation College の略。実際に商品化を目指す大学ゼミ対抗のインターカレッジ）と手帳の新商品開発に取り組みました。

2023 年 12 月までに合計 60 の手帳に関する企画案が提案され、そのうち 4 案を商品化しました。

URL：伊藤手帳オフィシャルサイト <https://ito-techo.jp/>

<プレスリリース・記事掲載・取材・画像に関するお問い合わせ>

名古屋市立大学 経済学部 山本 052-872-5064 nao@econ.nagoya-cu.ac.jp

伊藤手帳株式会社 広報 神谷 090-3710-0118 kamiya@ito-techo.co.jp